



念じられ 照らされて

儀式と帰敬式

近松 誉

「儀式」と聞くと、皆さんはどういうイメージを持たれますか? 「面倒なことだけど、これも儀式だからね」「儀式的な会議ばかりやっても、中身がなければ意味がない」というように、「儀式」は往々にして、マイナスイメージをもって使われている言葉のようにも思えます。

一方で、人間は「儀式」というものによって何らかの区切りをつけているという側面もあります。一般的に学校の年度は四月一日に始まり、三月三十一日に終わります。しかし、私たちは四月一日からいきなり意識が変わるわけではなく、その数日後に行われる入学式

<略歴>

真宗大谷派本願部定衆兼本願部長。大阪教区第4組慧光寺住職。1970年生まれ。同志社大学文学部卒業、大谷大学大学院修士課程中退。1995年、真宗大谷派宗務所に入所。総務部次長、財務部次長、教学研究部所務長等を経て現職。



式」は「おかみそり」ともい、「仏弟子になることを誓う儀式」ということになるでしょうか。「帰敬式」では、仏・法・僧の三宝に帰依することを誓う「三帰依文」を唱和し、執行者が受式者の頭に剃刀をあて、剃髪した形をとる「剃刀の儀」が行われます。そして、

や始業式に出て「新しい年度が始まった」と実感しますし、三月下旬の修了式、卒業式に出してしまうと、もうその年度は終わったと思うってしまったという節があります。このように、私たちは人生のあらゆる場面において何か心の区切りをつけるために「儀式」をしている、あるいは「儀式」によって知らずに区切りをつけている、ということが多いのではないのでしょうか。

私が奉職している真宗大谷派の本山・真宗本願(東本願寺)では、毎日数多くの「儀式」が行われています。その中でも真宗のご門徒に馴染みの深い「帰敬式」について、少しお話をしたいと思います。一口に言えば、「帰敬

式」は「おかみそり」ともい、「仏弟子になることを誓う儀式」ということになるでしょうか。「帰敬式」では、仏・法・僧の三宝に帰依することを誓う「三帰依文」を唱和し、執行者が受式者の頭に剃刀をあて、剃髪した形をとる「剃刀の儀」が行われます。そして、執行者から帰敬式の意義と、これからの生活についてお話しいただく「執行の辞」があり、仏弟子としての名のり(法名)をいただく「法名伝達」が行われます。そして受式者からは「誓いの辞」として、三宝に帰依する仏弟子として歩んでいくことを述べていただきます。この「帰敬式」は、本山ではほぼ毎日実施されていますし、高山別院でも報恩講の際に行われています。また、一般寺院でも執行することが

高山別院 報恩講 11月1日~3日

報恩講で帰敬式を受式しましょう

~ 本堂での主な催し ~

◆ 家族報恩講 (子ども作品展表彰式)

10月29日 (日) 午前11時

・ 子ども作品展 (10月21日~11月3日展示)

※募集要項はこちらの → QRコードからご覧ください

◆ 第42回 真宗公開講座 (第1回)

11月1日 (水) 午後7時 参加費 500円

・ えしんりょう氏の漫才法話

◆ 御伝鈔の夕べ feat. 曾爾テラワキ

11月2日 (木) 午後6時30分

昨年引き続き、御伝鈔【下巻】が曾爾テラワキ氏の音楽とともに拝読されます。

◆ 帰敬式

11月3日 (金・祝) 午前9時30分

・ 冥加金 13,000円 (20歳以下は6,000円)

・ 申込締切 9月30日

※10月に事前研修がございます。

※詳細のお問合せ、お申込はお手次のお寺まで。

ていくということになります。では、この「帰敬式」を受式すれば、その方が即「仏弟子」として完成された人となるのでしょうか。残念ながら、浄土真宗の儀式に、そのような超常的、もしくは呪術的な効果は一切ありません。「剃刀の儀」も、剃髪した「形をとる」だけであって、見た目は何ら変わりません。それならば、「帰敬式」は一体何のためにあるのでしょうか。私は、「仏弟子となることを誓う」という「形をとる」ことによって、受式者お一人お一人が、「自分を見つめ直す」「自分を問い直す」機会を持つという大切な意味がある、と思っております。式を受けたからといって、何かが急激に変化するわけはありません。けれども、最初に申しあげた「区切り」をつけ、「仏法」というものを意識する。本山でいえば、亡き人(縁者)の御遺骨をお持ちになり、本山にお納めする(収骨)法要に遇われたことを機縁に受式されることが多いのですが、亡き人も名前から授与されること、自分のもう一つの名前にはどんな意味があるのか、ということを開

秋季彼岸会・永代経法要

亡き方をご縁として仏法に出遇う大切な仏事です。ぜひお参りください。

9月20日(水)~26日(火) 午後1時から勤行・法話

- 20日(水) 光本 智見氏 (南春寺住職) 悩む心と喜ぶ心 — 四十八願六神通から学ぶ —
- 21日(木) 帰雲 真智氏 (還來寺住職) 枉れるわれらの帰りどころ
- 22日(金) 小原 正憲氏 (専念寺住職) 念仏成仏、これ真宗
- 23日(土) 三島 多聞氏 (別院 輪番) 意味ある人生
- 24日(日) 夏野 了氏 (満成寺住職) 別離は避けられない
- 25日(月) 窪田 哲氏 (圓徳寺前住職) 念仏申すべきものなあーりー
- 26日(火) 小原 宗成氏 (圓龍寺住職) お念仏申すということ

医療の現場で
「生きる」と「学ぶ」

岸上 仁

同じ人間として

みなさんは、認知症という病気に関心があるでしょうか。もし

かしたらご自身、あるいはご家族が認知症で悩んでおられるかもしれません。認知症は脳が萎縮して

いろいろな症状を出す病気ですから、医学的に知ることによって見えてくる。医学ではかえって見えなくなる

かしてほしいと思われるかもしれませんが、医学的な知識があると、見当識障害があつて昼と夜がわからなくなるとか、記憶力障害があつて

も電話をかけてくる」ということを「認知症の原因」と決めてしまつては、被災の報道に悲しむ心を見逃してしまつてしまつた

は、あなたが財布を盗んだと言われ、疲弊しておられました。しかし一度だけ「もう一人では無理、さみしい」という留守電が入つて

悲しみの心、さみしいという心をたずねるといふご家族の眼差しに

では、それはいつたいたうたずねることなのでしょう。次回も患者さんの声を通して確かめたいと思います。

たとえば、認知症と診断されている人が、夜中に何度も電話をかけてくる。そんなことがあつたら、みなさんどう思われるでしょうか？

別の患者さんのご家族は、しょっちゅう電話がかかつてきて

「同じ人間として」感じる心です。それなのに私は、認知症の人と私とを分けて見えてしまい、同じ人間として、心をたずねることを

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

9月 講師 佐藤 義晃氏 (了徳寺住職)

講題 「よくぞここまで」

10月 講師 北條 秀樹氏 (了泉寺住職)

講題 「聞くということ」

28日 親鸞聖人で命日法座

9月 講師 上清水 信男氏 (西蓮寺衆徒)

講題 「いのちからの問いかけ しんらん聖人と歩む」

10月 講師 櫻居 和彦氏 (西光寺住職)

講題 「安楽浄土に往き生まれることを」

ひだご坊



URL: https://hidagobo.jp/sermon/

9月1日から10月31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 北條 秀樹氏 (了泉寺住職)
三島 多聞氏 (別院輪番)
細川 宗徳氏 (蓮乗寺住職)
井野 了慧氏 (教務支所書記)

大谷婦人会 定例法座

9月11日 (月)
10月11日 (水)

講師 三島多聞 別院輪番
いずれも午後1時から 別院御坊会館にて

秋のお彼岸に墓石展示会を開催します

納得価格でご奉仕します。ぜひお来店ください。詳細は新聞折込チラシで!

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

石のことなら ご相談・お見積り無料!!
株式会社 奥田石材 OKUDA

☎ 0577-33-9601 [本社] 高山市新宮町2498-1(新宮小学校前)
☎ 0577-32-1483 [展示場・工場] 高山市国府町上広瀬137-1

お仏壇



お仏壇のお洗濯

お任せください



代々伝わる 大切なお仏壇を キレイにしませんか?

仏壇工芸 ほりお

高山市三福寺町369-7 TEL 0577-33-6686

お墓の修繕

お墓の修繕や移転、クリーニング等 お墓の悩み 解決します。

高山墓石店 ☎ 090-7677-4883 〒506-0814 高山市滝町1362 https://www.takayamaboseki.com/

慈愛・共なる灯り

高山電気工事株式会社

寒くなる前に 「浴室の暖たがリフォーム」 しませんか

当社独自の施工法 [今の浴室をそのまま] [安く、早い] ユニットバスへの換えの半額以下 [断熱サッシ・暖房機・手摺りを取付けます] 『暖かく快適』と全ての方に喜ばれています 予算に合わせて工事できます 御相談下さい [お見積無料] 気軽にお電話下さい TEL 32-2577 高山市七日町3-102 (株)小林ベニヤ リフォーム部

山都印刷株式会社

高山市西之一色町二丁目九〇一八 TEL 〇五七七-三三二一四九五



自主出版 編集・出版までお手伝い致します
平瀬酒造店 TEL 34-0010

ドローン空撮 高山市桐生町71503 有田株式会社 リプロ TEL 0577-335030

保険タイム 〒506-0059 高山市下林町 916-1 ※ひだしん西高校前支店となり TEL 0577-35-1005

逆転の名言 ブックス・アイオー 折れない言葉II 五木寛之著 TEL 〇五七七-三三二一四九六八